

真剣味



中京大学 | 広報 176号

2013年7月24日発行

主な内容

- ② 2014年4月「歴史文化学科」開設
- ③ 工学部の最新施設・設備
- ④ 中京大学長期計画「NEXT10」
- ⑤ 開学60周年記念講演会「張富士夫トヨタ自動車会長」
- ⑥ 財政のプロや新聞記者が出張講義
- ⑦ 国家公務員総合職に5人合格／図書館の貴重書「大鏡」
- ⑧ 研究最前線「ネットビジネス・中村雅章教授」
- ⑩ 中京大学予算／梅村学園予算
- ⑪ 学生の活動(学習・研究成果、文化会、大学祭)
- ⑫ 新同窓会長に森谷敏夫京都大学大学院教授
- ⑭-⑮ 中京大学決算／梅村学園決算



中京に歴史あり 1968年 ◀◀

大学祭恒例の市中パレード。学生寮や各クラブが、それぞれ工夫を凝らして八事興正寺まで練り歩く仮装行列は、毎年ニュースに取り上げられる秋の名物行事だった。交通事情を反映して出発地を当初の名古屋・栄から千種駅前、さらに今池へと変更し、コースを短縮。その後、中止された。

発行 中京大学 広報部

〒466-8666名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL.052-835-7111(代)

来春「歴史文化学科」開設

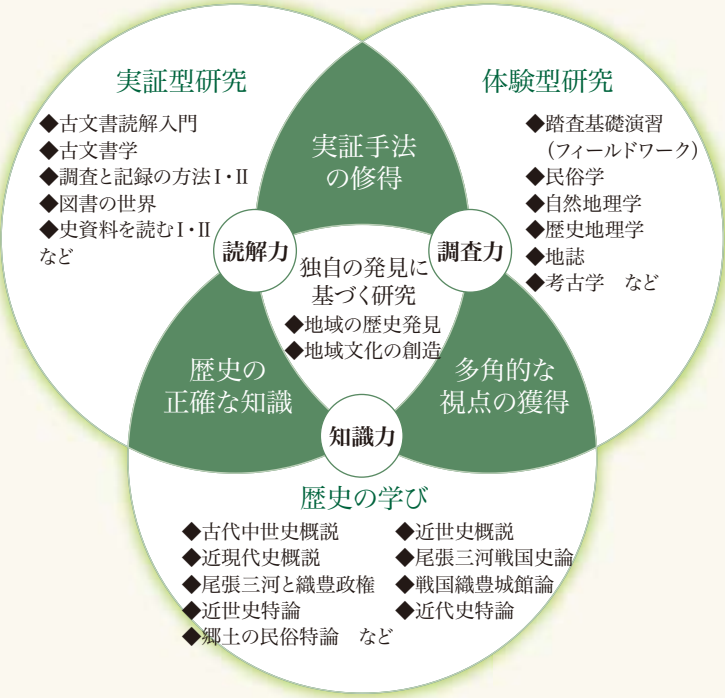
歴史の知識を現代に生かす

「体験」と「実証」に力点

本学は来春、名古屋キャンパスの文学部に歴史文化学科を開設する。文学部は既存の日本文学科、言語表現学科と合わせて3学科体制となる。各学科の定員は65人。

歴史文化学科は、日本の歴史や文化を正しく理解し、歴史の

知識を現代に生かす糧としながら、これからの社会を作り上げていく人材の育成を目的としている。主な教育・研究分野は①日本史を主とした文献歴史学②宗教学・社会学などを母体とした歴史のアプローチの学③基礎となる歴史資料学。



**先入観にとらわれず
根拠示す人材を育成**

歴史文化学科長(予定)
村岡 幹生

中京大学がある東海地方は、信長・秀吉・家康らが初期に活躍した舞台であり、また、江戸時代に大名家を多く輩出するなど、地域から日本全体を見通す研究に適した地域だ。そのため、戦国・織豊期以降の学習は大きな魅力である。

歴史文化学科では、歴史文化に関する正確かつ幅広い「知識」を基に、学生に様々なものに直に触れてほしいと、資料や古文書の扱い方を学び、読解力を高める「実証型研究」と、現地踏査などで調査能力を磨く「体験型研究」を重視している。学生が自ら問題を発見し、多様な視点を持ち合わせながら実証によって解決していく力の養成



播磨良紀教授の「古文書読解入門」(名古屋市博物館にて)

成を目指している。

高等学校教諭Ⅰ種(地理歴史)と中学校教諭Ⅰ種(社会)、図書館司書、学芸員などの資格取得が可能だ。

歴史文化学科の特色

1. **視野広げる
現地踏査**

寺や史跡を訪れて古文書を見せてもらったり、祭礼で奉納される舞や供え物などの文化を調査したり、地理的条件を調べたりといった経験を通して「調べる」ことの奥深さを学ぶ。地域の人に聞き取りを行う際の礼儀や、人の話を聞く力を自然に身に付けることができる。調査の成果を発表する場ではプレゼン能力を磨くこともできる。歴史文化学科では「歩く／みる／きく」によって視野を広げてもらうために、積極的にフィールドワークを実施する。

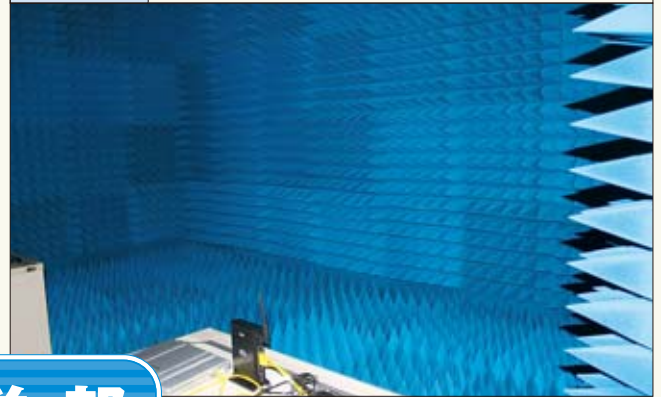
2. **貴重書を使用**

尾張・三河の統治にかかわる戦国大名らが与えた許可書、豊臣秀吉が出した命令書、天下布武の印が押された織田信長の朱印状などの原本も用いて読解や史料の取り扱いを学ぶ。同時に、史料を大切に扱う心や伝えてきた人々に対する敬意を培う。

電波 暗室

携帯電話の通信実験

特殊素材で電波を遮断



携帯電話、スマートフォンの高度化は、今日、社会の注目的になっている。無線LANや携帯電話の通信速度・通信品質を向上させるための研究には、他の電波の干渉しない環境が必要になる。電波暗室は、部屋全面が電波を遮断する素材で覆われ、部屋の中で発生した電波は外に出ることなく、外からの電波も中に入らない。この理想的な環境で、電波の干渉による品質低下や、劣化した無線信号の修復の研究など、学生にとって最新のテーマを学ぶことができる。携帯電話(2GHz)、無線LAN(2GHz, 5GHz)をはじめ、今後使われる更に高い周波数帯の実験も可能である。

工学部 最新設備

ものづくりの 学習支える

今春誕生した工学部には、名古屋キャンパスのものづくり系2学科の学生が基礎を学び、興味や関心を高める最新の研究を可能にする実験設備が揃う。製造業界で必需品となっている放電加工装置や、ロボットの視覚を検証するアドバンスト・センシング実験室のほか、電動機と発電機の原理を学習する電気機器実験装置など、さまざまな施設や設備がある。3Dプリンタや電波暗室など、機械システム工学科と電気電子工学科が使用する設備を一部紹介する。

より複雑になった現代の製造業を中心に建築や先端研究など幅広い分野で普及しつつある3Dプリンタは新しい製作技術として注目を浴びている。学生たちが使用方法に触れ、就業先でも技術を活用することが期待されている。旋盤や帯鋸など、従来の機械や手では加工できない、複雑な立体形状を簡単に再現することができる。設計図作成ソフト(CAD)を使用して作成された設計図を基に、合成樹脂で立体的な物体を作成する装置。一晩かけてこぶし大程度の大きさの素材が加工可能だ。

3D プリンタ

注目の最新技術

加工困難な形状を再現



2台のディスプレイや、電圧を波形で表示し計測するオシロスコープ、任意の周波数と波形を持つ電圧信号を生成するファンクションジェネレータなど一人一式の装置が各机に整備された東海地区最大の専用教室。片方のディスプレイに教員の手元作業や指示を映し、もう片方に自分の作業工程を出しながら、教員がマンツーマンで学生の目の前で指導を行っているように授業を受けることができる。

高電圧 実験装置

雷や放電・絶縁破壊の研究 300万ボルトの電圧発生



高電圧実験装置は、雷や放電、絶縁破壊など、電気工学のダイナミックな現象を学ぶ実験装置である。雷のような空中の放電だけではなく、この装置ではガラスやセラミックスなど絶縁体の耐久性を測ることができる。二つの大きな球の間に絶縁体を入れて電圧を徐々に上げながら測定を行う。全自動で安全かつ簡単に300万ボルトの電圧を発生させることができる。

電気電子 工学回路 実験室1

マンツーマン風の指導

計測装置を個々に整備



しなやかに挑み続ける 新生・中京大学

方向性・戦略示す10年計画

「NEXT10」策定

愛すべき母校、誇るべき母校へ



梅村学園理事会は来春、中京大学が開学60周年を迎えるのを機に、2014年から10年間にわたる方向性や戦略を明確にした「中京大学長期計画 NEXT10」を策定し、7月8日、ホームページで公開した。

最も重要なコンセプトは、学生や教職員、保護者、卒業生など、全てのステークホルダーと相互に信頼関係を確立することだ。小川英次理事長は「NEXT10には本学の夢が盛り込まれています。次代に向けて、地歩を固め、一層の飛躍を図りましょう」と全ての関係者に協力を呼び掛けている。

5つの分野 10の推進事業

NEXT10は、①〈教育分野〉自ら考え、行動するしなやかな知識人を育成する②〈研究分野〉研究力を強化し、中京大学を飛躍させる③〈社会連携分野〉地域の交流・連携の核となる④〈国際化分野〉世界をキャンパスに、キャンパスを世界に⑤〈卒業生連携分野〉世代を超えるChukyoアイデンティティ——の5つの分野と、それらを具現化するための10の推進事項

「NEXT10のキャッチコピーは「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」。進化、挑戦を合言葉に本学のさらなる発展に向け、教職員一丸となって取り組んでいく。

2014年度からはじまるNEXT10は、今年4月に発足した推進委員会が中心となって実行していく。

2015年度までに取り組みを開始する推進委員会主導の重点化プロジェクト、大学内から募集する組織的なプロジェクト。これらを合わせて4カ年行動計画として進めていく。

(別表)で形成されている。建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を、教育研究等の活動において具現化していくことを目指している。

策定委員長の梅村清英理事は「NEXT10は本学が走り続けるための道標。皆さんの愛すべき母校、誇るべき母校となるよう、知を結集し、行動力をもって実行していきます」と決意を述べている。

NEXT10 分野別の推進事項

分野	推進事項
I 教育	1 建学の精神に基づいた教育基盤の整備 2 学生の個性を尊重し、自立的成長を促す教育の推進 3 学修意欲を高める教育環境の整備 4 柔軟な学修を実現する教育制度の整備 5 国や地域を越えた相互理解・人間理解を促進する教育の推進 6 教職員の教育力を最大限に活かすための環境整備 7 中京大学附属中京高校との高大連携一貫教育の推進
II 研究	1 研究成果の社会への発信拡大 2 外部資金による研究活動の活性化と支援体制の強化 3 研究の進化に応えた研究助成制度の整備
III 大学院	1 大学院進学希望者の受け入れを推進するための情報発信 2 大学院学生に対する教育研究体制の充実 3 大学院学生のキャリアパスの多様化に向けた取り組みの推進 4 研究者養成機能の強化を目的とした博士後期課程の研究環境の整備
IV 国際化	1 海外留学・研修派遣の拡大による多様なグローバル人材の育成 2 海外留学・研修に参加しやすい環境の整備 3 留学生の受け入れ促進と異文化が融合するキャンパスの実現
V 学生支援	1 学生支援に関するデータを収集・管理・分析・利用できる全学的体制の整備 2 学生相談体制の整備・拡充 3 奨学金制度の拡充と周知方法の改善 4 正課外活動の活性化

分野	推進事項
VI キャリア教育・支援	1 キャリア教育に対する全学的取り組みの強化 2 キャリア支援における学内外の連携体制の強化 3 入学から卒業に至るまで学生のステージに応じたキャリア支援の促進
VII 学生の受け入れ	1 入学者受け入れの方針に沿った受験生を獲得するための入試方法などの見直し 2 入学者受け入れの方針に沿った受験生を獲得するための中長期的な入学定員の設定 3 時代に見合った学部改組の継続
VIII 社会連携	1 Chukyoアイデンティティに沿った戦略的広報と社会連携を推進するための組織再編 2 スポーツ分野の資源・資産を活用した地域連携、社会連携の実施 3 知的資源・資産を活用して製造業をはじめとした企業、中部圏、愛知県、名古屋市や豊田市などの行政機関との連携実施
IX 卒業生連携	1 同窓生、在学生に魅力のある同窓会組織再編 2 同窓会組織と連携した在学生支援体制の構築 3 愛校心のさらなる育成
X 管理運営	1 管理運営のガバナンス強化と組織見直し 2 持続的な発展を支える財政とキャンパスづくり 3 長期計画の推進

中京大学開学60周年記念講演会

第1回

トヨタの張会長講演に500人

「学生は実践的な視点を」とメッセージ



中京大学が来春、開学60周年を迎えるのを前に、トヨタ自動車

の記念講演会が5月21日、名古屋キャンパス「清明ホール」で開かれ、学生や経済人、市民ら約500人が聴講した。写真。



たことや、用地買収の担当となつて、なかなか交渉に応じない地主に一升瓶を持参した経験などを、ユーモアを交えて語った。そのうえで、張会長は、「中京大学の『建学の精神』の四大綱である①ルールを守る②ベストを尽くす③チームワークをつくる④相手に敬意を持つ——は社会で必ず生かされるだろう」とコメントした。

大学の在り方について、「大学の研究は細分化、専門化されているが、実際の社会では実践的な視点が重要で、全体を総合的に見なければわからないことが多い。総合型の研究にも取り組んで欲しい」と呼びかけた。そして、「グローバル社会が進む中で欧米はどういうやり方で行つてくるかなどを研究し、文化や習慣、考え方の違いやお互いの長所を吸収して、事業に結びつけてほしい」と述べた。

また、学生時代、剣道に明け暮れていたという張会長は、同じ時期に「突然出てきた（開学したばかりの）中京大学に大学

選手権の優勝を持つて行かれて驚いた思い出がある」と振り返り、その原動力となった中京大学の「建学の精神」を讃えていた。

第2回のご案内

「大学の未来へのメッセージ—知と挑戦—」



室伏広治さん



森谷敏夫さん



松田丈志さん

日時 10月9日(水)15時
会場 名古屋キャンパス
図書館・学術棟 清明ホール

基調講演

「自己への挑戦—未知なる探求—」

室伏広治さん (スポーツ科学部准教授、五輪金メダリスト、97年体育卒)

座談会

「わたしたちと中京大学」

森谷敏夫さん (同窓会長、京都大学大学院教授、73年体育卒)

松田丈志さん (五輪銀メダリスト、07年体育卒)

・室伏広治さん

応募方法はホームページで案内

問い合わせ先 エクステンションセンター

(052-835-7216)

イベントのご案内

アートギャラリー C・スクエア



●第114回企画展 檜橋朝子展 (写真)

日時: 9月23日(月)~10月12日(土)
※休館: 日曜

会場: 名古屋キャンパス4号館
アートギャラリー C・スクエア

●第115回企画展

ユミソン展 (パフォーマンス、ワークショップほか)

日時: 11月11日(月)~30日(土)
※休館: 日曜、祝日

会場: 名古屋キャンパス4号館
アートギャラリー C・スクエア

公開講座

●ソフトサイエンスシリーズ第34回 (工学部開設記念)

「情報通信産業と
それを支える
モノづくりの課題」

講師: 森下俊三さん
(西日本電信電話株式会社相談役)



日時: 10月24日(木)14時~

会場: 名古屋キャンパス
図書館・学術棟 清明ホール

問い合わせ先: エクステンションセンター
(052-835-7216)

社会の最前線の動きを学ぶ

財政のプロや新聞記者が出張講義

官庁や金融機関、マスコミの第一線で活躍する人を講師陣に招いて、学生たちに実践的知識を身につけてもらおうと、様々な寄付講座を展開している。財務省や東海財務局の幹部職員らが「財政・金融及び東海経済の現状と課題」をテーマに講義する経済学部の「経済学特殊講義Ⅲ」、読売新聞の記者が「新聞から見た政策決定の現場」を語る総合政策学部の「総合政策特殊講義」、野村證券の社員が為替や株式市場の動向について述べる経営学部の「証券投資論……」。職業選択を考えるキャリア教育としての意義も大きい。

東海財務局講座（経済学部）

ミクロ・マクロから「日本経済」分析

今年度初めてカリキュラムに登場した経済学特殊講義Ⅲ「財政・金融及び東海経済の現状と課題」は、日本経済について、ミクロ・マクロ両面から多彩な授業が繰り広げられ、経済学部



の3、4年生約80人が受講した。

財務省や財務専門官の仕事に

関心をもってもらうために毎回違うテーマが設定され、財務省本庁や東海財務局の様々な部門の職員が登場した。4月17日の「財政総論」の講義は、国の予算を編成する財務省主計局でデータの収集分析に携わる調査課の神通浩二課長補佐が担当、「我が国の財政の現状と課題」と題して、社会保障費などの増加によって国の借金が増えたことや、ギリシャやスペインを例に、財政が悪化すると年金給付減や税金負担増として自分たちの生活に直接跳ね返ってくることに ついて、グラフを交えてわかりやすく説明した。写真。

読売新聞講座（総合政策学部）

五輪招致にもスポット

総合政策特殊講義（読売新聞）「新聞からみた政策決定の現場」は、総合政策学部の2、4年生約80人が受講した。

「アベノミクス」などの経済現象のとらえ方や「原子力発電の安全性」「デジタル時代の著作権と肖像権」といったテーマについて、読売新聞の論説委員や編集委員、部長、デスクらが、社会の最前線で起きている事象



「マーケットから信用される姿を見せ続けられるよう努力している。社会保障についても、給付と負担のバランスが取れた社会を作っていくかなければならない」。そう語る神通さんの解説を聞き、学生たちは一生懸命ノートを取っていた。

を分かりやすく解説した。

5月23日の第7回講義のテーマは「東京五輪招致について」。



JOCオフィシャル新聞パートナーである読売新聞東京本社オリンピック事務局長を務める塩見要次郎さんが、2020年五輪に向けて東京とイスタンブール（トルコ）、マドリッド（スペイン）が繰り広げている招致合戦の展望について言及した。写真。

「これから日本が生き残るためには教育や経済力、情報発信力などの『都市力』が重要。都市力を上げるためにも、ぜひ東京五輪を招致したい」と語る塩見さんに、質問が相次いだ。

野村證券講座（経営学部）

投資家心理の実例紹介

野村證券の第一線で働く証券パーソンが担当する「証券投資論」は経営学部の2、4年生ら111人が履修した。

証券市場の基礎知識や投資とは何かを理解してもらうことを目的に、講師が交代で市場の役割や日本の株式市場の歴史などを解説。加えて、毎週の最新市場動向を名古屋駅前支店法人課の清野香織課長代理が伝えるなど、金融市場への関心を促している。

6月28日に行われた第13回講

義では、金融公益法人部業務課の藤原誠一課長代理が「資

本市場における投資家心理」を経済学と心理学に基づいて説明。何故バブルが起こるか、アイドルの人気投票や学食のメニュー選択における集団心理、就職活動などを絡めて、人につられてしまう過程をテンポ良く話し、バブルに飲まれる危険性を説いた。写真。

藤原さんは「将来、投資をする場合には取引の目的を明確に持ち、衝動買いなどの心理的会計と自己規律を上手に使いこなして」と呼び掛けていた。

一層充実した学習環境

個別、グループ用、コンピュータ利用など 自習スペース1814席

授業のレポートやゼミの発表資料の作成、就職や資格の試験勉強など、キャンパス内の学習施設を利用する学生が年々増えている。学生たちの要望に応え、座席数を増加し、用途に合わせた様々な形態の学習施設を設置したことで、学習環境が一層充実した。

今春、名古屋キャンパスに新図書館がオープンし、478の閲覧席が設けられた。内訳は、一般閲覧72席、個人席142席、グループ学習室60席のほか、プレゼンの練習や共同学習ができるラーニング・スクエア44席、くつろぎながら勉強できるリフレッシュ・スクエア48席など。

6月には、センタービル1階に学習室ができ、80の個別席が設置された。授業開始前に学生ラウンジや通路横の座席で勉強している学生たちに配慮し、他



名古屋図書館のラーニング・スクエア



センタービルの個人学習室

の学習施設より1時間早い8時から利用できる。

これにより、本学全体の学習施設は名古屋・豊田両キャンパス合わせて、図書館の閲覧席が1440席、個別学習室80席、パソコンが設置されたコンピュータ自習室が266席、その他28席の合計1814席となった。

国家公務員総合職

現役学生 5人が合格

8年連続に記録更新

2013年度の国家公務員採用総合職試験(旧・国家I種)の結果が6月24日に人事院から発表され、本学から5人の現役学生が合格した。内訳は、法学部4人(いずれも法律区分)、経済学部1人(経済区分)。

本学の現役学生の合格は8年連続。東海地方の私立大学では昨年まで本学の7年連続が最高だったが、この記録をさらに伸ばす結果となった。

今回、合格した学生たちは、いずれも、毎年2年生の12月から開講している公務員講座を受講していた。この講座は、教養試験科目と専門試験科目を幅広くカバーしたカリキュラムを組んでおり、3年生の3月まで1年4カ月にわたる講座で、その後は5・6月に行われる一次試験(筆記)、5-8月の二次試験(面接)に向けての直前対策を、講座の講師と資格センター職員が全力でサポートしている。

図書館の貴重書7

大鏡(貴124)
美しい装丁の歴史物語

平安時代に成立した紀伝体(歴史叙述の一形式で、帝王の伝記と臣下の伝記とを列記する)の歴史物語。「鏡物」「四鏡」の一作。作者は男性と言われるが、諸説あつて定説を見ない。内容は、藤原道長と道長に至る藤原氏の栄華を主眼に、百七十五年

間の人物や出来事を虚実取り混ぜて語る。

中京大本は江戸時代前期頃の書写で、全三巻。薄縹色の表紙に、上・中巻には朱色の題簽が貼られている。金泥や金箔による装飾もあり、美しい装丁の本である。また、本文も丁寧に書写されている。

『大鏡』の本文は、古本系・流布本系・異本系の三つに大別されるが、中京大本は古本系に属する。古本系は他の二系統に比べ、『大鏡』の原形により近い本文であるとされている。新編日本古典文学全集などでも、本文には古本系ものが採用されている。中京大本の本文は、それらの底本と比較しても見劣りしないものである。古本系の中には『大鏡』の本文以外に裏書(もとは巻物の紙の裏に記されていたという注釈)を記載したものがある。中京大本も該当する各伝記末に裏書を取録する種類の貴重な一本である。

(文学部非常勤講師

加藤 幹子)



研究最前線 6

経営戦略に情報技術の視点 DSSPサイクルで実践しながら考える

中村 雅章

経営学部教授

今や13兆円規模となったインターネットビジネス市場では、通販や広告など各社がしのぎを削る。ネットを活用したビジネスの可能性について話を聞いた。

—— ネットビジネスの研究をされているそうですね。

企業がどのような顧客に対して自社の強みを売り出し、ライバルに対抗していくか、いわゆる経営戦略を、情報技術を使い、いかに効果的に行うかについて「情報戦略論」というテーマで研究をしています。

—— 実際の企業はどのような情報戦略を立て、実行しているのでしょうか。

ITがどう使えるか、新しいITでどんな戦略を可能にするかの双方からビジネスモデルを考えています。膨大なデータを分析するビッグデータや在庫管理システムなど、これまでできなかったことが情報技術の向上により可能になりました。自社の経営戦略を理解しIT動向に精通したCIOという役割を設置し始め、情報技術の可能性を探って成功を収める企業が次第に増えています。



—— 最近、特に注目している事例を教えてください。

サイズ違いや欲しい商品ではなかったなどの知覚リスクが大きい、アパレルのネット通販に注目しています。企業はあらゆる方向の写真を掲載し、サイズ詳細を明記してリスクの低減を図っています。ネットショッピングの送料無料と即日配送が普及し、実際の店舗は激減すると言われました。ですが、実店舗もオンラインで通信販売を行ったり来店時に使えるクーポンを発行したりと複数の流通チャネルを自在に使える「オムニチャネル」の戦略がスタンダードになり、ネットと実店舗が共存しています。IT分野は本当に動向が速く、計

● 中村雅章（なかむら・まさあき）名古屋出身。名古屋工業大学大学院工学研究科修了。工学博士。1995年中京大学経営学部助教授、2002年から現職。2007年から経営学部長（2年）。専門は経営戦略論、経営情報論。科目担当は情報戦略論、情報・ビジネス戦略など。

画に時間をかけていたら乗り遅れてしまうので、計画し、実行し、その結果を検証するPDS(Plan-Do-See)サイクルではなく、DSSP(Do-See-Plan)の順序でネット関連会社に行き調査を行っています。

—— スピード重視の研究を講義

—— どのように生かしていますか。ゼミでは、事前に知識を詰め込むのではなく、まず企業の現場で話を聞き、新事業や商品企画のプレゼンを実践させています。当然、不十分なところが出てきますが、学生には何が足りないのか自分で課題を見つけて、本を読んで調べ、それでもわからないところは教員に聞くという風に自発的に解決してもらいます。プレゼンの方法もほかの上手な学生を見て自然に学んでいるようです。学生たちの方がDSSPの手法にうまく対応しているかも知れません。

学習・発達の心理と教育

杉江 修治
(国際教養学部教授)著

本書は教育心理学の研究成果に基づき、よりの確な児童生徒理解を促すことを図ったものである。さまざまな課題を抱える教育の現状に対して、心理学的な成果をどのように適用していくかの視点も示している。ここではまた、教職課程で学ぶ学生の学習も視野に入れた記述にも心がけている。

一粒書房。2013年3月3日刊。
147頁。税込1,500円

刑事法の基礎【第2版】

平川 宗信
(法学部教授)著

約4年前に公刊された本書の改訂版。刑法・刑事訴訟法等の刑事法の原理・原則を歴史・思想に遡って解明し、現在の立法・解釈問題に展開している。初版以後の法改正や裁判員裁判の開始等の変化を取り込み、さらに充実した。初学者から法科大学院生までが刑事法をより深く理解するためのテキストに好適である。

有斐閣。2013年3月30日刊。
348頁。税込3,045円

少子化論

なぜまだ結婚・出産しやすい
国にならないのか

松田 茂樹
(現代社会学部教授)著

少子化対策がはじまって約20年が経つが、わが国の出生率は依然として低いままである。果たして、これまでの少子化対策は効果的であったのか。家族や若年雇用の変容、父親の育児参加、都市と地方の差異、少子化の国際比較など多角的な視点の分析を通して、通説を見直し、わが国の少子化とその対策を最も総合的に論じる書。

勁草書房。2013年4月1日刊。
246頁。税込2,940円

元気な体をつくる! かんたんタオル体操

湯浅 景元
(スポーツ科学部教授)著

体の柔らかさは、スポーツにとっても日々の生活にとっても必要な体力の1つである。体の柔らかさの必要性については広く知られるようになっていく。しかし、柔らかいだけでは過伸展で関節や筋を痛めることがある。柔らかさと強さの両方が必要である。この本は、タオルを利用した柔らかさと強さを高める体操を紹介している。

双葉社。2013年5月19日刊。
111頁。税込1,260円

●磯直行工学部教授が表彰

宇宙飛行士との交信プロジェクト



国際宇宙連盟の愛知県支部長を務め、NASA（アメリカ航空宇宙局）のプロジェクト、ARISSスクールの宇宙飛行士と子供たちが、アマチュア無線局により交信するプロジェクト「ARISSスクールコンタクト」を愛・地球博などで開催した磯直行工学部教授が、6月3日、総務省東海総合通信局長から表彰を受けた。表彰式は、総務省東海総合通信局「電波の日・情報通信月間」の記念式典で行われ、電波利用や情報通信の発展に功績があつた4人と4団体に表彰状が贈られた。磯教授は日本アマチュア無線

ARISSスクールコンタクトには、本学情報理工学部（当時）が連携機関として活動し、教員が子どもたちへ宇宙や科学に関する講義を行うとともに、学生が無線設備の構築や子どもたちへの英語の指導などの運営面に関わつた。

●橋本学工学部教授らが優秀学術賞

ロボットが立体を知覚する眼



工学部の橋本学教授らの研究論文「特徴的な3-Dベクトルベアを用いた高速位置姿勢認識」が、SSII画像センシングシンポジウム（6月13・14日）で発表された100件を超す論文の中から「優秀学術賞」に選ばれた。

研究論文は、ロボットの知能化に欠かせない立体を知覚する眼に関するもので、極めて少ないデータ点数で確実かつ素早く対象物を認識する手法。データ発生確率の理論的分析に基づいた独創的な発想と、現実の産業用ロボットに適用し得る実用性能が高く評価された。受賞者は橋本教授のほか、情報科学研究科修士2年の秋月秀一さん。

2013年度 科学研究費助成事業
新規29件、採択率35.8%
総額1億3千万円

2013年度「科学研究費助成事業」に本学から新規29件（学術研究助成基金助成金24件、科学研究費補助金5件）が採択され、継続分36件と合わせ総数が65件、配分される総金額は1億3,175万円となった。新規の応募81件、採択29件、採択率35.8%はいずれも過去最高。

学術研究助成基金助成金（新規採択分）		（単位：千円）	
所属・氏名	研究課題名	交付決定額	研究種目
文学部准教授 徳竹 由明	対馬の神社縁起言説の変容と対外戦争の物語	500	基礎研究(C)
国際教養学部教授 小川 秀司	アッサムモンキーの社会と生態：オス間の寛容性の進化を探る	1,400	
国際教養学部教授 武井 暁子	産業革命とヴィクトリア朝文学	1,100	
国際教養学部教授 梅 正行	インド英語小説における職業表象の比較的研究	1,200	
国際教養学部教授 長滝 祥司	心の記述学を作る：実践理論としての認知現象学の構築を目指して	900	
国際教養学部教授 ましこ ひでのり	情報弱者むけユニバーサル・デザイン具体化のための基礎的研究	1,200	
現代社会学部教授 加藤 晴明	奄美における文化の伝承・創生のメディア的展開とアイデンティティ形成に関する研究	1,000	
現代社会学部准教授 松谷 満	福島原発事故の衝撃：再帰的近代と地方政治の再編	2,500	
経済学部教授 釜田 公良	社会保障が家族の居住地に及ぼす影響と社会保障における中央・地方政府の役割	1,400	
経済学部教授 近藤 健児	多国間経済連携協定にともなう労働市場の国際化に関する経済分析	1,500	
経済学部准教授 風神 佐知子	海外生産が労働市場に与える影響および地域別影響と労働者の地域偏向についての分析	800	
工学部教授 宮田 義郎	グローバルな協同表現活動による学びの場の構築のための理論と実践の統合	1,200	
工学部准教授 石原 彰人	コントラスト利得制御に関わる網膜神経機構の研究	1,200	
スポーツ科学部教授 柿山 哲治	女子バスケットボール創成の解明	1,400	
スポーツ科学部准教授 高梨 泰彦	スポーツによる腋窩神経障害の発生状況調査と予防のためのコーチング	2,700	

社会科学部所任研究員 東山 京子	台湾総督府における地方行政機関の文書史的研究	1,200	基礎研究(C)
社会科学部所任研究員 中原 聖乃	ポスト被ばく社会の再生における「つながり」に関する歴史人類学的研究	700	
心理学部助教 宮崎 由樹	映像型ドライブレコーダーを搭載することで生じる心理的効果に関する基礎研究	500	挑戦的萌芽研究
現代社会学部准教授 大岡 頼光	「脱家族化」概念の拡張からみるスウェーデンの福祉・教育予算編成方法の研究	600	
工学部教授 種田 行男	健康増進のための身体活動の政策監査ツールを用いた我が国の政策評価と国際比較	1,300	
心理学部講師 松本 友一郎	職場における「本音の抑制」イベントの要因に関する研究	500	若手研究(B)
経済学部准教授 内田 俊博	環境責任行動の変化を引き起こすメカニズムの経済分析	1,300	
経済学部准教授 増田 淳矢	日本の地域別失業率を分析する計量モデルの構築とその応用	800	
工学部講師 鬼頭 信貴	オンライン誤り検出可能・セルフテスト容易な高信頼算術演算回路に関する研究	700	

科学研究費補助金（新規採択分）		（単位：千円）	
所属・氏名	研究課題名	交付決定額	研究種目
国際教養学部准教授 堀淵 知哉	近隣環境の健康影響に関する地理学研究	3,800	若手研究(A)
国際教養学部准教授 相澤 真一	後発産業化諸国の中等教育拡大の国際比較研究：日本を起点としたアジア・東欧への展開	5,500	
国際教養学部教授 武井 暁子	ヴィクトリア朝の都市化と放浪者たち	1,000	研究成果公開促進費(学術図書)
現代社会学部教授 野口 典子	デンマークの選択・日本への視座	1,400	
法学部教授 檜山 幸夫	台湾総督府文書目録データベース	6,500	研究成果公開促進費(研究成果データベース)

※若手研究(A)については、一部学術研究助成基金助成金を含む。

先般の学園評議員会及び理事会におきまして、中京大学の2013年度予算が決定されましたので、概要を説明します。資金収支予算書は表1、消費収支予算書は表2のとおりです。

●資金収支予算書(表1)

<収入の部>

1. **学生生徒等納付金収入**:143億76百万円を計上しました。予算学生数の見込みにより、2012年度予算に比べ1.8%の減少となりました。

2. **手数料収入**:4億8百万円を計上しました。ほとんどが入学検定料です。

3. **補助金収入**:6億10百万円を計上しました。国庫からの補助金が主なものです。

4. **資産運用収入**:受取利息等の収入で、1億54百万円を見込みました。

<支出の部>

1. **人件費支出**:81億1百万円を計上しました。2012年度予算と比べ2.9%増加しています。

2. **経費支出**:教育関連経費、研究費、学生募集経費など、教育研究経費と管理経費で構成されています。あわせて49億57百万円で、前年度予算と比べ1.5%の減少です。

3. **施設関係支出**:名古屋学舎9号館耐震工事、0号館空調工事、その他校内整備などの事業費として13億58百万円を計上しました。

4. **設備関係支出**:教室設備、情報機器、図書費などの支出として14億57百万円を計上しました。

●消費収支予算書(表2)

1. **帰属収入**:157億75百万円を計上しました。2012年度予算と比べ1.7%の減少となっています。

2. **基本金組入額**:組入額として50億94百万円を計上しました。前年度予算と比べ39億97百万円減少しました。

3. **消費収入**:帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入は106億82百万円で、前年度予算と比べ大きな増加となりました。

4. **消費支出**:146億92百万円を計上しました。前年度予算と比べ1.1%増加しています。

5. **消費収支差額**:帰属収入は消費支出を上回っていますが、基本金組入額が大きく、結果として、消費収入から消費支出を差し引いた収支差額は40億10百万円の支出超過が見込まれています。

梅村学園の予算も同様に決定されました。その資金収支予算書は表3、消費収支予算書は表4のとおりです。

消費収支予算の収入の部では、帰属収入は185億89百万円を計上しました。2012年度予算と比べ1.9%減少しています。学生生徒等納付金収入は、160億31百万円を計上しました。各学校の学生生徒園児数の見込みにより、前年度予算と比べ2.0%減少しています。また、補助金収入は、国庫からの補助金と地方公共団体からの補助金とを合わせ16億77百万円を計上しました。

基本金組入額は52億65百万円で前年度予算と比べ40億48百万円減少しました。その結果、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入の予算額は133億24百万円です。

消費支出の予算額は187億79百万円で、同1.5%の増加です。人件費支出は100億15百万円を計上しました。前年度予算と比

表1 2013年度 中京大学資金収支予算書 (単位:千円)

収入の部			支出の部		
科目	2013年度予算	2012年度予算	科目	2013年度予算	2012年度予算
学生生徒等納付金収入	14,375,980	14,633,086	人件費支出	8,101,002	7,876,419
手数料収入	407,970	386,322	教育研究経費支出	3,772,386	3,573,323
寄付金収入	0	7,650	管理経費支出	1,184,884	1,460,111
補助金収入	610,391	531,290	借入金等利息支出	71,249	31,185
資産運用収入	154,300	166,300	借入金等返済支出	747,630	110,000
資産売却収入	0	939,324	施設関係支出	1,358,000	18,949,126
事業収入	186,772	227,333	設備関係支出	1,457,360	664,287
雑収入	40,000	78,736	資産運用支出	1,050,030	1,053,100
借入金等収入	0	8,000,000	その他の支出	3,384,890	1,108,121
前受金収入	2,445,975	2,439,675	予備費	50,000	50,000
その他の収入	3,728,000	3,711,541	資金支出調整勘定	△418,394	△2,694,074
資金収入調整勘定	△2,139,275	△2,566,635	次年度繰越支払資金	10,208,837	11,157,761
前年度繰越支払資金	11,157,761	14,784,737	支出の部合計	30,967,874	43,339,359
収入の部合計	30,967,874	43,339,359			

表2 2013年度 中京大学消費収支予算書 (単位:千円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	2013年度予算	2012年度予算	科目	2013年度予算	2012年度予算
学生生徒等納付金	14,375,980	14,633,086	人件費	7,855,380	7,773,268
手数料	407,970	386,322	教育研究経費	5,201,636	4,877,255
寄付金	0	28,650	管理経費	1,463,541	1,705,508
補助金	610,391	531,290	借入金等利息	71,249	31,185
資産運用収入	154,300	166,300	資産処分差額	50,000	100,000
事業収入	186,772	227,333	予備費	50,000	50,000
雑収入	40,000	78,736	消費支出の部合計	14,691,806	14,537,216
帰属収入合計	15,775,413	16,051,717			
基本金組入額合計	△5,093,550	△9,090,408	当年度消費支出超過額	4,009,943	7,575,907
消費収入の部合計	10,681,863	6,961,309			

表3 2013年度 梅村学園資金収支予算書 (単位:千円)

収入の部			支出の部		
科目	2013年度予算	2012年度予算	科目	2013年度予算	2012年度予算
学生生徒等納付金収入	16,030,557	16,354,206	人件費支出	10,310,380	11,221,186
手数料収入	479,871	460,077	教育研究経費支出	4,168,093	4,063,929
寄付金収入	1,790	17,950	管理経費支出	1,546,831	1,677,306
補助金収入	1,676,628	1,581,888	借入金等利息支出	77,829	41,097
資産運用収入	159,491	173,671	借入金等返済支出	985,104	384,486
資産売却収入	0	942,544	施設関係支出	1,397,000	18,971,330
事業収入	186,772	231,690	設備関係支出	1,492,850	714,325
雑収入	99,819	300,454	資産運用支出	1,070,030	1,053,100
借入金等収入	0	8,000,000	その他の支出	2,907,655	732,294
前受金収入	2,721,815	2,720,335	予備費	66,500	65,500
その他の収入	4,115,798	4,209,266	資金支出調整勘定	△482,008	△2,868,166
資金収入調整勘定	△2,982,395	△3,366,763	次年度繰越支払資金	10,715,482	11,765,600
前年度繰越支払資金	11,765,600	16,196,669	支出の部合計	34,255,746	47,821,987
収入の部合計	34,255,746	47,821,987			

表4 2013年度 梅村学園消費収支予算書 (単位:千円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	2013年度予算	2012年度予算	科目	2013年度予算	2012年度予算
学生生徒等納付金	16,030,557	16,354,206	人件費	10,014,818	10,585,290
手数料	479,871	460,077	教育研究経費	5,922,655	5,756,621
寄付金	2,865	43,245	管理経費	1,840,131	1,945,478
補助金	1,676,628	1,581,888	借入金等利息	77,829	41,097
資産運用収入	159,491	173,671	資産処分差額	856,663	115,718
事業収入	186,772	231,690	予備費	66,500	65,500
雑収入	52,900	103,896	消費支出の部合計	18,778,596	18,509,704
帰属収入合計	18,589,084	18,948,673			
基本金組入額合計	△5,264,690	△9,312,777	当年度消費支出超過額	5,454,202	8,873,808
消費収入の部合計	13,324,394	9,635,896			

べ5.4%の減少です。また、各学校の教育研究経費と管理経費は合わせて77億63百万円を計上しました。

このような帰属収入と基本金組入額の予算により、消費収入から消費支出を差し引いた収支差額は54億54百万円の支出超過が見込まれています。

次に、資金収支予算のうち、施設及び設備整備事業費は28億90百万円を計上しました。中京大学での施設や設備の整備をはじめとして、附属中京高等学校、三重高等学校では体育館の改修工事等を行ない、その他図書等の充実を図ります。

(理事 鬼頭 俊二)

学習・研究活動

◎ アイデア提案／総合政策学部

日経新聞WEB刊に掲載

総合政策学部の坂田隆文ゼミ生が、日本経済新聞社ホームページWEB刊の未来面の企画に応募し、5人の提案が掲載された。

日本経済新聞社は、これから国のかじ取りを担う、若く、新しい力を育てるプロジェクトをスタート。「新しい日本人をつくる」をテーマに、次世代につなげる持続的な社会をどう築けばいいのか、経済大国から世界に誇れる人材大国になるには何をすればいいのか、学生からのアイデアを継続的に募集している。

掲載された学生とテーマは次のとおり。「歴史と伝統を武器に」新井宏典さん(2年)、「中学生の創造性を自由に」「MOTTAINAIを極める」奇数人のチームリーダーに「平岩莉央さん(3年)、「子供が買い物代行」鈴木志穂さん(3年)、「公平がいいとは限らない」田下文菜さん(2年)、「義務教育を変える」石間千温さん(2年)。

◎ 地域交流／現代社会学部

「おいでん踊り」で審査員



仮装して祭りを盛り上げる大友ゼミ生

豊田市の保見団地にて「保見においでんまつり」(6/22)が開催され、地域コミュニティを学ぶ現代社会学部の大友ゼミ生20人は、企画、メインイベント「おいでん踊り」の審査員、会場設営や駐車場の整備等の運営担当として参加した。

保見団地はブラジルからの移民が

住民全体の4割程を占め、住民間で騒音などの問題がある。団地全体では高齢化が進んでいる。学生が参加すれば、若い住民も祭りに来るのではないかと、企画から参加した。サンバを踊ったり、フィッシュバーガーやケバブなどのブラジルの飲食物を販売したりと、異国感あふれる祭りになった。

「おいでん踊り」の審査では、衣装がユニークで息の合った踊りが印象的だった「愛故に…O-teamのカーテンコール」連を大賞に選んだ。中京大賞として、「プチ・ぼとふ」連を表彰した。

1カ月前から週に1回の会議に参加して保見団地の住人と関わり、コミュニティ形成の問題や特色が見える経験となった。(現代社会学部3年・高井 真子)

◎ 学会受賞／情報科学研究科

画像センシングで 学生研究奨励賞



大学院情報科学研究科修士課程2年の斎藤正孝さん(橋本学研究室)が6月11日、電子情報通信学会東海支部の学生研究奨励賞(修士)を受賞した＝写真＝。

斎藤さんは、ロボットシステムのための画像センシング技術の新手法を提案。ドラスティックな照明変動下でも、過去の変動傾向から明るさの変動を予測し、変動しにくいデータだけを使用。変動を予測するために時空間共起特徴と呼ばれる情報を利用し、確率理論に基づいたアルゴリズムを構築した。その結果、15ミリ秒という高速性と、97.6%という信頼性を達成した。

この経験を就職後のエンジニアとしての業務に生かし、モノ作り現場で活躍していきたいと思っている。

(情報科学研究科修士2年・斎藤 正孝)

文化・課外活動

◎ クラブ発表会／文化会

豊田系10団体が成果を披露



ムービーで活動紹介をする晴地舞

豊田キャンパスの文化会所属10団体が、第17回豊田系クラブ発表会「トヨタの奇妙な冒険～トヨタは砕けない～」(4/27)を開催した。

今回初めて名古屋キャンパス⇄豊田キャンパス間の連絡バスを手配したことで、名古屋キャンパスの学生を多く含む計96人が訪れた。

約4時間半にわたり、演劇部による演劇「ギター殺人事件」を始め、出版部や児童福祉活動部などの活動紹介ムービー、放送クラブのラジオ放送やサウンドコミュニケーションの生演奏など様々なプログラムを披露。来場者からは、「活動紹介ムービーの完成度が高い」などの声があった。

発表会に向けクラブ間を越えた交流が生まれ、クラブ同士の結びつきが強まった。(現代社会学部4年・玉越 亘)

中京大学祭

日程:11月1日(金)～3日(日)

●名古屋キャンパス(第60回)

テーマ「昇」

●豊田キャンパス(第20回)

テーマ「繫」～繫ける思い 広がる絆～

音楽やダンスのステージ、コンテスト、来場者参加型のゲーム、子ども向けの企画、模擬店、フリーマーケットなど、大人も子どもも楽しめる企画が盛りだくさん。ぜひ、ご来場を!

「中京大学同窓会」 第6代会長

京都大学大学院教授
森谷 敏夫さん（73年体育卒）

中京大学同窓会は5月11日、第6代会長に森谷敏夫・京都大学大学院教授（1973年・体育学部卒）を選出した。任期は4年。川岸信一前会長（1966年・体育学部卒）は、中京大学同窓会顧問に就任した。森谷会長は1950年、兵庫県生まれ。本学体育学部体育学科を卒業後、南カリフォルニア大学大学院博士課程を修了（スポーツ医学、Ph.D.）。テキサス大学、テキサス農工大学大学院助教授、京都大学教養部助教授等を経て2000年から京都大学大学院人間・環境学研究科教授。生活習慣病における運動の重要性を説き、有酸素運動を推奨している。

「飛躍を胸に原点に回帰」

～森谷敏夫～



同窓会長としての大任を仰せつかり、身の引き締まる思いです。代々の会長様が築いてこられた中京大学同窓会の益々の発展

と飛躍を胸に、原点に回帰して母校への思いと絆を更に強くしていけるように頑張つていく所存です。開学60周年をまぢかに迎え、11万人を超える同窓生の皆様方のご支援、ご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。当時の熱い思いと一緒に母校の更なる飛躍に繋げていかれることを祈念しています。

教育後援会が学生表彰

修学意欲など高める

教育奨励賞

学業成績優秀者を表彰する
192人

「教育奨励賞」の授与式が6月20日、名古屋キャンパスで行われ、各学部学科から選ばれた2～4年次の学生192人に表彰状と奨励金が贈られた。

教育奨励賞は、学生たちの教育・学生生活を支援している保護者の組織「中京大学教育後援会」が、学生の修学意欲の高揚を図ることを目的に実施。各年次に修得した科目の成績評価が高い学生（上位者3～5人）を毎年表彰している。

杉野邦廣教育後援会長は「皆さんから家族に、成績優秀者として表彰状と奨励金を受けたこ



とを報告してください」と挨拶。北川薫学長は「国境を越えた世界的視野に立って、中京大生としてのアイデンティティを確立し、自分自身を高めてください」と激励した。

課外活動奨励賞

スポーツ・文化の
優秀者
個人10人と5団体

同窓会課外活動奨励賞授与式が5月24日、豊田キャンパスで行われ、2012年度下半期（11月～3月）に活躍した個人種目の10人と団体種目の5団体に表彰状と奨励金が贈られた。

同窓会課外活動奨励賞は、課外活動で優秀な成績を収めた学生および団体を表彰し、奨励金を給付することにより、課外活動の高揚を図ることを目的としている。表彰式は、5月と12月（上半期分）に分けて実施している。なお上半期は、個人45人と13団体が表彰された。

教育後援会・同窓会主催のイベント案内

在学生の保護者対象

●キャンパス見学会 ※大学祭と同時開催

日時：11月2日(日) 10:30～15:00
会場：名古屋・豊田両キャンパス

同窓生対象

●ホームカミングデー ※大学祭と同時開催

日時：11月2日(日) 10:30～15:00
会場：名古屋・豊田両キャンパス

●全国同窓会

日時：9月28日(日) 19:00～
会場：東京・京王プラザホテル
※案内は7月下旬に校友会本部から郵送します。

●支部同窓会（全国7ブロックで開催）

- | | | |
|---|--------------|---|
| 1 | 新潟県
新潟市 | 日時：9月21日(日) 18:00～
会場：ホテルイタリア軒 |
| 2 | 岩手県
盛岡市 | 日時：10月5日(日) 18:00～
会場：ホテルメトロポリタン盛岡本館 |
| 3 | 群馬県
高崎市 | 日時：10月12日(日) 18:00～
会場：高崎ワシントンホテルプラザ |
| 4 | 沖縄県
那覇市 | 日時：10月19日(日) 18:00～
会場：ホテルロイヤルオリオン |
| 5 | 大分県
大分市 | 日時：11月16日(日) 18:00～
会場：大分オアシスタワーホテル |
| 6 | 島根県
松江市 | 日時：11月23日(日) 18:00～
会場：サンラポーむらくも |
| 7 | 和歌山県
和歌山市 | 日時：11月30日(日) 18:00～
会場：ホテルグランヴィア和歌山 |

中京
往人

喜びと感動が原動力に

大竹 孔よし三みさん
音楽療法士

「音楽には感情と記憶を刺激し、心の扉を開ける力、良さや強みを引き出す力がある」と大竹さんは言う。大学で学んだ心理学を基にコミュニケーションをはかり、音楽の力を活用して心身に障がいを持つ人の回復や機能改善などのセラピーを行っている。



高校2年から、音楽療法士を志していた大竹さんは、中京大学で心理学と英語の勉強に没頭した。仮説を立てて検証していく心理統計学や精神疾患等の援助・改善策を学ぶ臨床心理など、人の心について幅広く学んだ。3年次と4年次にはアメリカに留学した。

中京大学を卒業後、アメリカの大学院に進学し、音楽療法士の資格を取得。アメリカで5年間、特別支援学校の児童やドラッグに溺れる高校生らと向き合い、音楽療法士としての経験を積み重ねてきた。「自閉症の児童が6カ月間の療法で言葉を発するよ

うになった。その時の喜びと感動が、今の私を動かしている」と力強く語る。

2007年、心理学研究科学術講演会の講師として登壇。「今の私があるのは中京大学のおかげ。少しでも恩返しを」と音楽療法の効果を熱弁した。現在は、福祉団体サウンディング・ジョイ・ジャパン事務局長として音楽療法の啓発活動と、障がいを持つ子どものセラピーに力を入れている。

●広島県福山市出身。2002年文学部心理学科を卒業後、渡米。ニューヨーク大学大学院音楽療法学科、同大学付属ノードフ・ロビンズ音楽療法センターを修了。新潟県在住。趣味は陶芸。

編集記

4月に広報部広報課に配属され、今号から本格的に広報誌の編集に携わりました。真新しい「図書館・学術棟」の教室や研究室、工学部実験棟などを行き来し、多くの先生や学生の皆さんに取材の協力してもらいました ◆名古屋市博物館の特別室で生の古文書を読んだり、プログラムを組んでロボットを動かしたり—学生たちが初めて接する学問や実験に感動する場面に立ち会い、取材をする私自身も新鮮な気持ちと一緒に味わっています ◆くずし字で書かれた古文書を読みながら、学生たちが「この字は、なんと読むのだろう」と頭をひねっています。しばらくして、1人が声を張り上げました。「あっ、これ『候きょう』だ!」「私たちにも読めた」。目を輝かせる彼らに、一人では難しくても協力し合えば解決できることを教えてもらいました ◆この広報誌の編集作業のめどがついた頃、中京大学に同期で入った仲間たちがケーキを用意して完成パーティーを開いてくれました。温かい同輩に恵まれた幸せを噛みしめ、学生たちのために全力で頑張ろうと心に誓いました。(ま)

27都市で「教育懇談会」開催

保護者2400人が参加

在学生の保護者が組織する教育後援会主催「2013年度教育懇談会」が、6月8日から7月21日にかけて全国27都市で開催され、合計2400人の保護者が参加した。

教育懇談会は保護者と大学の相互理解を深めることを目的に、毎年行われている。本学の教職員が各会場に出向き、キャリアアップや成績、留学、キャリアア

ップ、就職、奨学金、クラブ活動など、教育方針や学生のサポート体制について説明した。

杉野邦廣・教育後援会長は6月8日の名古屋会場で「学生に『困ったときに誰に相談をするか』とアンケートをすると、90%以上が『友達と親』と回答している。子供の最後の支えは親であり、今日の教育懇談会で得られた情報を有意義に活用して強い絆を築いてください」と挨拶した。

11氏に
名誉教授の称号

本学園理事会は、中京大学を今春退職した元教授11氏に4月1日付で名誉教授の称号を授与した。本学の名誉教授称号授与者は計120人。

- 村井 信行氏 (国際教養学部)
- 神田 和幸氏 (国際教養学部)
- 平田 昭次氏 (心理学部)
- 八尋華那雄氏 (心理学部)
- 志村 明子氏 (現代社会学部)
- 鈴木 道子氏 (現代社会学部)
- 山岸 敬子氏 (法学部)

訃報

<p>名誉教授 (元教養部教授) 高田 邦彦さん (たかだ・くにひこ)</p> <p>6月9日逝去されました。 82歳。66〜01年在職。西洋史。</p>	<p>名誉教授 (元心理学部教授) 森 孝行さん (もりたかゆき)</p> <p>6月28日逝去されました。 81歳。71〜07年在職。実験心理学。</p>
---	--

学園の決算も同様に確定しましたので、その概要を説明します。
2012年度の消費収支計算書は**図表4**のとおりです。

消費収入の部では、帰属収入が191億9百万円で、予算を上回ることができました。そのうち学生生徒等納付金は164億46百万円で、帰属収入における構成比率は86.1%となっています。補助金は16億3百万円で、帰属収入に占める割合は8.4%です。また、寄付金は69百万円でした。

次に、基本金に組み入れた額は、中京大学名古屋学舎整備等に伴う有形固定資産の増加により第1号基本金等91億85百万円と大きなものでした。その結果、2012年度の消費収入は99億24百万円となりました。

一方、消費支出の部は、総額180億4百万円で、予算内での執行となりました。消費支出のうち、人件費は105億19百万円、消費支出における構成比率は58.4%となっています。また、教育研究経費は54億97百万円で、前年度に比べ減少し、消費支出に占める割合は30.5%となっています。なお、資産処分差額は主に設備の除却によるものです。

消費収入から消費支出を差し引いた結果は80億79百万円の支出超過となりました。これは施設設備の取得により、基本金組入れ額が増加したことが大きな要因となっています。

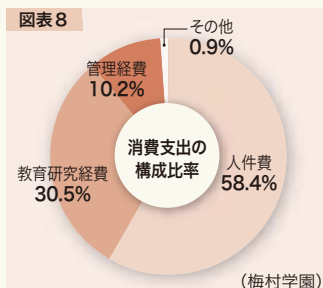
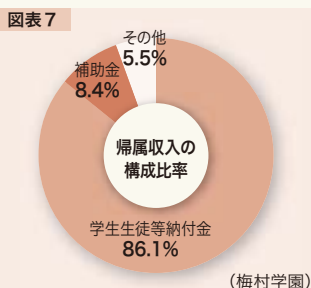
この消費収支計算書の帰属収入、消費支出の構成比率は**図表7**、**図表8**のとおりです。また、**図表9**は、消費収支計算書関係の財務比率の過去5年間の推移を示しています。

次に、資金収支計算書(**図表5**)の科目ですが、施設整備への支出は189億68百万円、機器備品・図書などへの支出は5億69百万円でした。借入金については、施設事業のための借入を行いました。

貸借対照表の概要は**図表6**のとおりです。資産総額は1,031億65百万円で、前年度に比べ11.8%増加しています。一方、負債の総額は219億85百万円で、前年度に比べ80.1%増加しました。また、基本金と消費収支差額を合わせた額は811億80百万円で、前年度に比べ1.4%増加しました。主な貸借対照表の過去5年間の関係比率は**図表10**のとおりです。

なお、中京大学及び梅村学園の消費収支計算書及び資金収支計算書の予算額については予備費振替後のものです。

(理事 鬼頭俊二)



設備の修繕、維持、保全に要する経費④学生募集のために要する経費⑤補助活動事業のうち食堂、売店のために要する経費等に該当することが明らかな経費が管理経費とされます。それ以外の経費については、主たる用途に従って教育研究経費か管理経費のいずれかに含めます。光熱水費等のように双方に関連するもの

は校舎面積等で按分しています。

「基本金」

基本金とは、学校法人が教育・研究等諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、帰属収入の中から組み入れた金額をいいます。

図表4 2012年度 梅村学園消費収支計算書 (単位：千円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金	16,354,206	16,446,144	人件費	10,585,290	10,519,114
手数料	460,077	502,383	教育研究経費	5,756,667	5,496,687
寄付金	43,245	68,597	管理経費	1,945,478	1,828,880
補助金	1,581,888	1,603,236	借入金等利息	41,097	40,725
資産運用収入	173,671	165,307	資産処分差額	118,169	118,167
資産売却差額	0	122	予備費	63,003	—
事業収入	231,690	211,071	消費支出の部合計	18,509,704	18,003,573
雑収入	103,896	112,297	当年度消費支出超過額	8,873,808	8,079,432
帰属収入合計	18,948,673	19,109,157			
基本金組入額合計	△9,312,777	△9,185,016			
消費収入の部合計	9,635,896	9,924,141			

図表5 2012年度 梅村学園資金収支計算書 (単位：千円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金収入	16,354,206	16,446,144	人件費支出	11,248,243	11,186,048
手数料収入	460,077	502,383	教育研究経費支出	4,063,929	3,801,475
寄付金収入	17,950	18,581	管理経費支出	1,677,306	1,560,236
補助金収入	1,581,888	1,603,236	借入金等利息支出	41,097	40,725
資産運用収入	173,671	165,307	借入金等返済支出	384,486	384,482
資産売却収入	942,544	942,586	施設関係支出	18,971,330	18,967,614
事業収入	231,690	211,071	設備関係支出	714,325	568,863
雑収入	300,454	304,062	資産運用支出	1,053,100	1,053,096
借入金等収入	8,000,000	8,000,000	その他の支出	758,061	738,220
前受金収入	2,720,335	2,864,966	予備費	12,676	—
その他の収入	4,209,266	4,175,085	資金支出調整勘定	△2,868,166	△3,261,877
資金収入調整勘定	△3,366,763	△3,403,036	次年度繰越支払資金	11,765,600	12,988,172
前年度繰越支払資金	16,196,669	16,196,669	支出の部合計	47,821,987	48,027,054
収入の部合計	47,821,987	48,027,054			

図表6 2012年度 梅村学園貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	89,536,949	固定負債	14,250,105
有形固定資産	69,903,406	長期借入金	7,806,453
土地	15,275,161	退職給与引当金	6,443,652
建物	40,133,907	流動負債	7,735,264
構築物	3,814,811	短期借入金	985,102
教育研究用機器備品	1,249,703	未払金	3,235,742
その他の機器備品	167,628	前受金	2,864,966
図書	9,226,426	預り金	649,454
車両	35,770	負債の部合計	21,985,369
その他の固定資産	19,633,543	基本金の部	
ソフトウェア	89,903	科目	金額
電話加入権	5,574	第1号基本金	84,637,243
有価証券	38,100	第3号基本金	70,406
長期貸付金	104,486	第4号基本金	1,520,000
長期前払金	296,765	基本金の部合計	86,227,649
退職給与引当特定資産	3,070,440	消費収支差額の部	
減価償却引当特定資産	6,905,000	科目	金額
奨学資金特定資産	2,870,000	翌年度繰越消費支出超過額	5,048,087
将来計画準備引当特定資産	3,084,740	消費収支差額の部合計	△5,048,087
第3号基本金引当資産	70,406	科目	金額
その他固定資産	3,098,129	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	103,164,931
流動資産	13,627,982		
現金預金	12,988,172		
未収入金	535,071		
仮払金	65,034		
前払金	39,705		
資産の部合計	103,164,931		

(注)長期性預金はその他固定資産に含む。

図表9 梅村学園消費収支計算書関係比率 (単位：%)

評価	算式	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
学生生徒等納付金比率	△ 納付金/帰属収入	82.9	83.8	82.8	86.3	86.1
補助金比率	△ 補助金/帰属収入	8.7	9.3	7.3	8.1	8.4
人件費比率	▼ 人件費/帰属収入	51.5	51.8	72.5	51.0	55.0
教育研究経費比率	△ 教育研究経費/帰属収入	30.3	30.4	29.8	30.9	28.8
消費収支比率	▼ 消費支出/消費収入	98.8	106.7	123.5	109.1	181.4

図表10 梅村学園貸借対照表関係比率 (単位：%)

評価	算式	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
固定比率	▼ 固定資産/自己資金	91.7	92.1	95.1	94.3	110.3
固定長期適合率	▼ 固定資産/自己資金+固定負債	86.4	86.9	86.4	86.0	93.8
流動比率	△ 流動資産/流動負債	330.9	338.8	338.1	372.4	176.2
総負債比率	▼ 総負債/総資産	11.0	10.5	14.0	13.2	21.3
自己資金構成比率	△ 自己資金/総資産	89.0	89.5	86.0	86.8	78.7

(注)△高い値が良い ▼低い値が良い と言われています
自己資金=基本金+消費収支差額

先般、中京大学の2012年度決算が確定しました。各計算書については図表1及び図表2のとおりですが、消費収支計算書の決算数字を中心としてその概要を説明します。

●消費収支計算書(図表1)

1. 学生生徒等納付金:147億23百万円で、前年度に比べて2億44百万円減少しました。帰属収入に対する構成比率は90.9%となっています。構成割合は収入の各科目間の相対的なものでもあり、他の収入科目の増減によっても左右されますが、この構成比率は高い水準が続いています。

なお、2012年5月1日現在の学生総数は13,262人でした。

2. 手数料:このうち97.0%が入学検定料です。入学検定料収入は4億16百万円、前年度に比べて21百万円の増加となりました。また、帰属収入に対する構成比率は2.6%となっています。

2013年度入試の志願者は32,788人でした。

3. 寄付金:特別寄付金が8百万円、現物寄付金が46百万円でした。帰属収入に対する構成比率は0.3%となっています。

4. 補助金:帰属収入に占める割合は3.3%となっています。経常費補助金は5億30百万円で前年度に比べて27百万円の増加となりました。また、経常的経費に対する割合は4.5%でした。

5. 資産運用収入:前年度に比べ52百万円、24.7%の減少となりました。帰属収入に対する割合は1.0%です。うち、受取利息収入の割合は53.6%です。

6. 事業収入:受託事業およびオープンカレッジ等受講料の収入です。前年度に比べて18百万円の減少となりました。

7. 帰属収入:収入の合計は161億88百万円であり、対前年度比2億50百万円、1.5%の減少となりました。

8. 人件費:77億33百万円で、対前年度比3.6%の増加となりました。帰属収入に対する人件費比率は47.8%、消費支出の構成比率は54.8%です。2012年5月1日現在の専任教員は314人、専任職員は175人でした。

9. 教育研究経費:46億44百万円で、対前年度比10.1%の減少となりました。また、消費支出における構成比率は32.9%でした。このうち減価償却費は13億4百万円、教育研究経費に占める割合は28.1%でした。

10. 管理経費:16億9百万円で、対前年度比2.0%の減少となりました。その消費支出における構成比率は11.4%でした。

11. 借入金等利息:31百万円で、前年度に比べて30百万円の増加となりました。

12. 消費収入・消費支出:基本金組入額は89億70百万円で、名古屋学舎整備等に伴い、前年度より68億50百万円増加しました。その結果帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入は72億19百万円となりました。一方、消費支出は141億18百万円で、対前年度比4.7%の減少となりました。消費収入から消費支出を差し引いた消費収支差額は68億99百万円の支出超過となりました。

●資金収支計算書(図表2)

各科目については消費収支計算書の中で概要を説明していますので、ここでは資金収支計算書の特有な科目のうち主なものに

図表1 2012年度 中京大学消費収支計算書(単位:千円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金	14,633,086	14,723,274	人件費	7,773,268	7,732,878
手数料	386,322	428,543	教育研究経費	4,877,255	4,644,266
寄付金	28,650	54,528	管理経費	1,705,508	1,609,153
補助金	531,290	531,515	借入金等利息	31,185	31,175
資産運用収入	166,300	157,161	資産処分差額	100,311	100,310
資産売却差額	0	122	予備費	49,689	—
事業収入	227,333	206,711	消費支出の部合計	14,537,216	14,117,782
雑収入	78,736	86,580	当年度消費支出超過額	7,575,907	6,898,919
帰属収入合計	16,051,717	16,188,434			
基本金組入額合計	△9,090,408	△8,969,571			
消費収入の部合計	6,961,309	7,218,863			

図表2 2012年度 中京大学資金収支計算書(単位:千円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金収入	14,633,086	14,723,274	人件費支出	7,903,993	7,865,024
手数料収入	386,322	428,543	教育研究経費支出	3,573,323	3,337,268
寄付金収入	7,650	8,030	管理経費支出	1,460,111	1,363,201
補助金収入	531,290	531,515	借入金等利息支出	31,185	31,175
資産運用収入	166,300	157,161	借入金等返済支出	110,000	110,000
資産売却収入	939,324	939,324	施設関係支出	18,949,126	18,948,501
事業収入	227,333	206,711	設備関係支出	664,287	522,111
雑収入	78,736	86,580	資産運用支出	1,053,100	1,053,096
借入金等収入	8,000,000	8,000,000	その他の支出	1,108,121	1,194,816
前受金収入	2,439,675	2,561,956	予備費	22,426	—
その他の収入	3,711,541	3,712,688	資金支出調整勘定	△2,694,074	△3,082,544
資金収入調整勘定	△2,566,635	△2,594,862	次年度繰越支払資金	11,157,761	12,203,009
前年度繰越支払資金	14,784,737	14,784,737	支出の部合計	43,339,359	43,545,657
収入の部合計	43,339,359	43,545,657			

ついて説明します。

1. 前受金収入:2013年度入学生の学生生徒等納付金は、春学期分が2013年3月末日までに納入されるため、2012年度の収入とします。

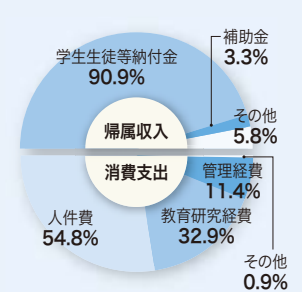
2. 資金収入調整勘定:期末未収入金と前期末前受金は、現金収受が前年度または翌年度以降行われ、2012年度には資金の流れが伴わないので控除されます。

3. 施設関係支出:土地・建物等に対する支出で、1号館・11号館の建築をはじめとした名古屋学舎整備事業、豊田学舎2号館・7号館の耐震工事、校地取得、その他校内整備工事等を行いました。なお、施設事業のため借入を行いました。

4. 設備関係支出:機器備品・図書等の取得のための支出です。教育研究用機器備品取得のうち主なものは、名古屋学舎1号館・11号館の教室設備、情報・ネットワーク関係機器、体育関係機器備品等です。また、図書の2012年度末現在の蔵書数は約130万9千冊です。

5. 資金支出調整勘定:期末未払金と前期末前払金は現金支払が前年度または翌年度以降行われ、2012年度に資金の流れを伴わないので控除されます。

図表3 構成比率(中京大学)



【決算用語説明】

「資金収支計算書」

資金収支計算書は、当該会計年度の教育研究活動及びその活動に付随するすべての収入・支出の内容、並びに当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするものです。

「消費収支計算書」

消費収支計算書は、消費収入と消費支

出の内容を示すとともに学校法人の財政の持続的な維持を図るため、消費収支の均衡の有無を明らかにするものです。

「教育研究経費と管理経費」

学校事業に要する経費のうち、①総務・人事・経理、その他これに準ずる業務の経費②教職員の福利厚生のための経費③教育研究活動以外に使用する施設、

オープンキャンパスに6,800人

高校生や保護者らにキャンパスを開放し、中京大学への理解を深めてもらう「オープンキャンパス2013」が7月13、14日、名古屋キャンパスで行われ、約6,800人が来場した。学部説明や模擬講義、個別面談、施設見学、学生による研究成果のプレゼンテーションなど、様々な企画が用意された。

今春開設した工学部、2014年に開設する文学部歴史文化学科、3専攻制に生まれ変わる国際英語学部への関心は高く、各コーナーには多くの受験生が詰めかけた。

次のオープンキャンパス

9月15日(日)、豊田キャンパスで開催

実施学部：現代社会学部、工学部、スポーツ科学部



受験生や保護者でにぎわう総合案内前

人気集める見学会や出前講義

—教育・学習環境を紹介—

高校の教員や受験生、保護者の皆さんに、中京大学の教育内容や学習環境、学生支援の特徴を知ってもらおうと、入試センターは大学見学会や進学相談会、高校での出前講義など多彩な活動を行っている。

見学会には7月中旬までに計20校が参加、高校生や保護者ら約1,200人が本学を訪れた。入試センターでは、文系・理系合わせて11学部を擁する本学の魅力を説明。キャンパスライフを肌で知ってもらうために、学内施設の見学や食堂体験などを実施している。

また、進学相談会も4月下旬からスタート。12月下旬まで、北海道から沖縄まで全国で実施する。

一方、大学の教員や入試センター職員を高校に派遣して行う出前講義・学部学科説明会は、7月中旬までに27校で実施した。年間を通して申し込みを受け付けている。

今後の進学相談会の日程・会場

地区	開催日	開催地	会場
愛知県	9/ 8 日	豊 橋	名豊ビル
	9/15 日	豊 田	中京大学豊田キャンパス(オープンキャンパス)
	9/21 土	名古屋	ウイंकあいち
	9/22 日	名古屋	ウイंकあいち
	10/ 5 土	名古屋	名古屋国際会議場
	12/23 月	名古屋	ウイंकあいち
岐阜県	8/25 日	岐 阜	じゅうろくプラザ
三重県	9/14 土	四日市	じばさん三重
静岡県	9/ 7 土	浜 松	えんてつホール
	11/ 9 土	静 岡	ツインメッセ静岡
北 陸	9/11 水	福 井	フェニックス・プラザ
	9/12 木	金 沢	金沢駅もてなしドーム
北海道	9/13 金	富 山	ANAクラウンプラザホテル富山
	8/23 金	札 幌	札幌パークホテル
九 州	10/19 土	福 岡	マリンメッセ福岡

試験区分	実施学部	出願期間			試験日	合格発表日
		郵送(消印有効)	窓口受付日	ネット出願		
前期日程入試	全学部	郵送、窓口受付は実施せず 2014年度入試より前期日程、後期日程入試において紙の願書を廃止し、インターネット出願のみで受け付けます。 インターネットから出願するだけで1受験15,000円から受験可能!	1月7日☉～ 1月24日☉	1月7日☉～ 1月24日☉	2月5日☉ 2月6日☉ 2月8日☉ 2月9日☉	2月18日☉
				1月7日☉～ 1月17日☉	2月1日☉	
				1月7日☉～ 1月24日☉	2月7日☉	
				1月7日☉～ 1月24日☉	個別試験は課さない	
				1月7日☉～ 2月3日☉		
後期日程入試	全学部	インターネットから出願するだけで1受験15,000円から受験可能!	2月18日☉～ 2月26日☉	2月18日☉～ 2月26日☉	3月7日☉	3月17日☉
				2月18日☉～ 3月11日☉	個別試験は課さない	

2014年度 入試日程決まる

前期、後期日程入試はネット出願のみ

中京大学の2014年度入試日程が決まった。AO(アドミッション・オフィス)入試が10月に、推薦入試が11月中旬からスタートする。前期日程入試は2月1、5～9日、後期日程入試は3月7日に実施する。

前期日程、後期日程入試の出願が、2014年度入試より、インターネット出願のみになる。願書の紙代や処理に関わる人件費を削減し、受験生の経済的負担の軽減につなげていく。

試験区分別の特徴は次の通り。教科・科目や出題範囲、配点、併願の可否、試験会場など、各入試区分、方式により異なるので、詳細は「入試要項」を参照。

A方式

最もスタンダードな入試のA方式は、試験科目が3教科の3教科型となっている(スポーツ科学部は実技試験不要の2教科型で実施)。成績上位者には奨学金を給付する。4日間の試験日を設けており、また同一日3学科(専攻)までの併願が可能。

M方式

3教科型、2教科型があり、全問マークシート方式で出題される。2教科型は得点の高い科目の配点が2倍に換算される。3教科型と2教科型の併願が可能で、また、各教科型とも最大3学科(専攻)まで併願できる。

得意科目重視型センタープラス方式

センター試験の2教科(必須1教科と高得点1科目、配点は各100点)に、中京大学独自の1教科(200点)を加える。国語重視型、英語重視型、数学重視型の3パターンから選択でき、得意教科を生かせる。同じ教科型での併願が3学科(専攻)までできる。

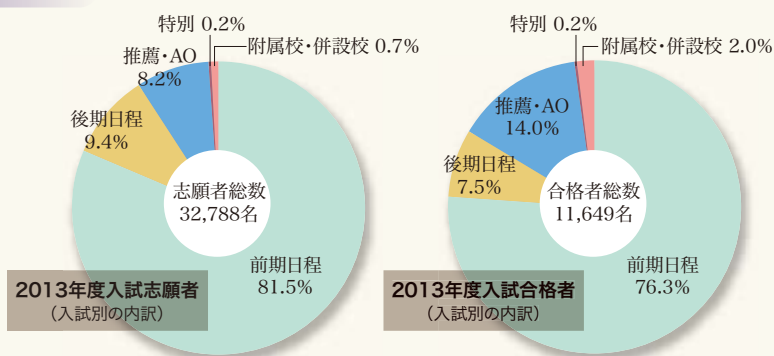
センター試験利用方式

3科目型、4科目型、5科目型を実施。いずれもセンター試験後に出願ができ、複数学科(専攻)の併願が可能。出願書類とセンター試験結果で合否判定する。

推薦・AO入試

推薦入試は、公募制の一般推薦、一芸一能の特Ⅰ、指定校推薦の特Ⅱ、専門高校特別推薦の特Ⅲの4種類がある。

AO入試は学部により出願資格が異なる。



2014年度 学部入試日程

試験区分	実施学部	出願期間			試験日	合格発表日
		郵送(消印有効)	窓口受付日	ネット出願		
AO入試	国際英語・国際教養・総合政策	9月10日ⓧ～9月18日ⓧ	9月19日ⓧ	実施せず	一次 書類選考 二次 10月12日ⓧ	一次 10月5日ⓧ 二次 10月18日ⓧ
	スポーツ科学	10月22日ⓧ～11月5日ⓧ	11月6日ⓧ		11月30日ⓧ	12月4日ⓧ
推薦入試	公募制一般	10月22日ⓧ～11月12日ⓧ	11月13日ⓧ	実施せず	11月23日ⓧ	11月30日ⓧ
	全学部 ※スポーツ教育・競技スポーツ科学科以外				11月30日ⓧ	12月4日ⓧ
	特Ⅰ	10月22日ⓧ～11月5日ⓧ	11月6日ⓧ		11月23日ⓧ	11月30日ⓧ
	国際英語・国際教養・文・現代社会・法・工 総合政策・経済・経営				11月16日ⓧ	
	特Ⅱ	11月23日ⓧ				
特Ⅲ	11月16日ⓧ					
全学部 ※競技スポーツ科学科以外	11月23日ⓧ					
経済・経営 工	11月23日ⓧ					

入試に関する詳細は、入試要項を参照してください。

お問い合わせ先

中京大学入試センター TEL.052-835-7170(直)

2 学生が主体的に授業作る ゼミで異文化理解

「インドネシアで日本の食品会社が商品の触媒に豚を使用し、イスラム教信者がデモを起こす事件がありました。食品会社は、従来と変わらず豚は触媒にしか使っていないと説明していますが、何が問題でデモに発展したのかを話し合ってください。」

6月4日、2年生17人が所属する渋谷努教授のゼミでは、グローバル社会における相互理解をテーマにした著書「異文化理解」(著者・青木保)をテキストに、日本とインドネシアの文化の違いを巡って、グループディスカッションが行われた。

進行役の学生たちがホワイトボードの前に立ち、他のゼミ生たちから意見を求める。

「触媒というのは、物質の化学反応を促進させるもので、要するに繋ぎのことでよ。ポイントとなる用語は具体的に伝えようね」。議論の行方を見守る渋谷教授が、進行役の学生たちに時折アドバイスや補足を加える。



文化の違いを巡ってグループディスカッションをする渋谷ゼミ生たち

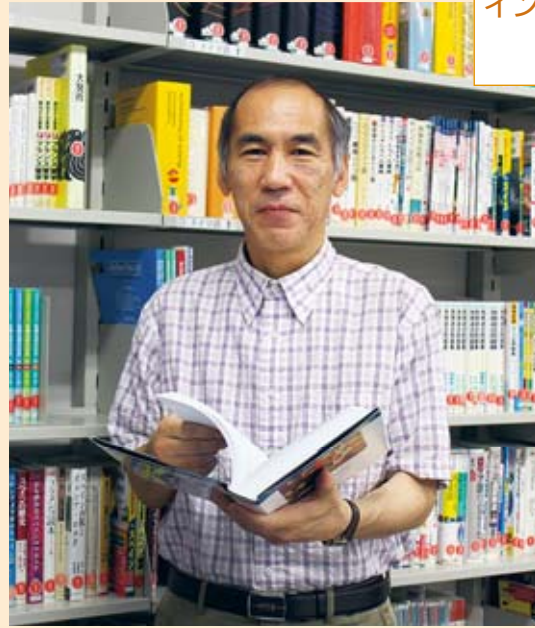
「イスラム教の国では、豚は食べてはいけないことになっている。日本の食品会社の理解が不足していた」「商品に、豚を使用した触媒であることの表示がなされておらず、隠ぺいと取られたのだと思う」。ゼミ生たちは活発な議論の末、ようやく結論に到達した。

渋谷教授の今学期のゼミでは「国際社会」を大きなテーマにかかげ、ゼミ生が渋谷教授の勧める課題図書に基づき、3つのグループに分かれている。各グループが交代でグループディスカッションの進行役を務めたり、「先生役」となって授業を進行する。

この日のゼミでは、インドネシア以外に、オーストラリアや中国に留学した学生たちが、それぞれの国で経験した「異文化理解」も、ディスカッションの対象になった。

学生が「先生」として授業を行うゼミのスタイルについて、ゼミ生の1人、小谷昭彦さんは「レジュメも話し合う議題も全て自分たちの手作り。学生が主体となって授業をつくりあげていく点が、海外の大学の授業みたいで面白い」と言う。山口大輝さんも「自分の伝えたいことをわかりやすく他のゼミ生に説明できるように努めています。就職しても上司への報告に役立つ」と話した。

学部長 インタビュー



複眼的な思考を生む多言語学習

郡 伸哉 国際教養学部長

【専攻 ロシア文学】

「英語に加えて他の言語を学ぶと、言語や文化を複眼的に見ることができるようになります。国際教養学部では、英語圏以外の5カ国への留学プログラムを用意し、7割以上の学生が利用しています。語学力を高めるだけでなく、観察と思考のトレーニングができるよう、研究テーマを持って留学先に出かけます」

「留学の手続きから研究課題の設定まで、教員と学生が一体となって留学準備を進めます。現地では、日本人だけかたまたま、何事にも積極的に飛び込んでいくことが大切だと説いています。帰国後は報告会を行い、各国に留学した学生同士、異なる学年同士が交流し、学部全体で成果を分かち合います」

「国際教養学部の特徴は語学や留学だけではなく、幅広い分野の講義とゼミ、そして卒業研究を通して、国際的に通用する確かな教養を身につけてもらいたいと思っています。また、より広く基礎的な教養を学ぶ場として、この学部の教員が担当する全学共通科目の大切さも強調しておきたいと思います」

学部 DATA

開設 2008年4月

学生数(2013年5月1日現在)

1年=125人、2年=115人、3年=110人、4年=121人

合計=471人 男:女=24.6%(116人):75.4%(355人)

卒業者数 195人

教員数 専任67人

※内訳:教授38人、准教授24人、講師4人、助教1人

語学と教養を 兼ね備えた人材育成

1 海外で「課題」調査、帰国後に発表 留学先の生の情報に触れる

「フランス国内では都市によって街並みが違うことを知り、都市景観の文献やガイドブックを見て研究をまとめました」。こう話すのは昨年12月に海外課題研究留学を終えてフランスから帰国した3年生の寺井美穂さんだ。

パリをはじめ、リヨンやボルドー、モンペリエなど8都市を訪問し、「街並み」をテーマに報告書を作成した。「同じフランスでも北の地方は木でできた家が多く、南の地方はオレンジ色など明るい色の建物が目立ち、南国のようだった」とまとめた。

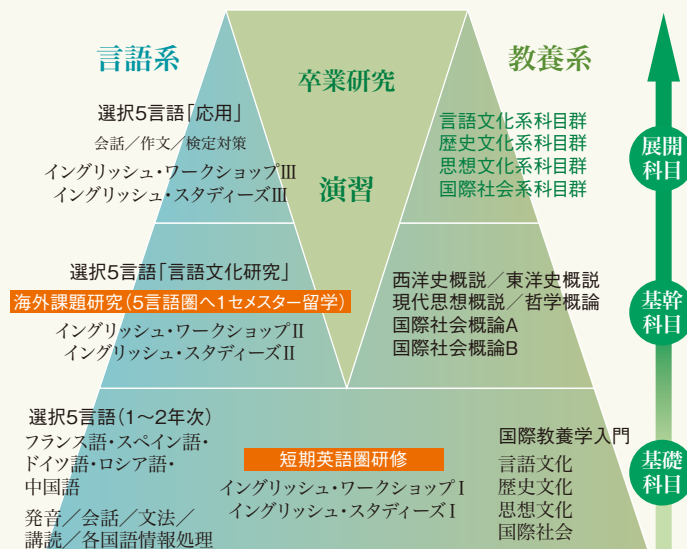
国際教養学部では、2年次の秋学期に海外での課題研究を目的とした1セメスター留学を実施している。8、9月に、フランス、スペイン、ドイツ、ロシア、中国の5カ国6大学に76人が出発する予定だ。実際に留学先で行った調査結果を、帰国後の翌年2月に「海外課題研究報告会」で発表する。

留学に欠かせない選択言語は、1年次から週4コマの授業で習得に努める。フランス語の場合、話す能力を伸ばすため、会話や発音の授業ではペンをほとんど使わない。

2年次に進級する頃には、「週末は何をしていますか」といっ

英語に加え、フランス語、スペイン語、ドイツ語、ロシア語、中国語の5つの中から選択した言語を話すことができる「多言語能力」を習得。さらに「言語文化」「歴史文化」「思想文化」「国際社会」の4つのカテゴリーから1つを選んで、幅広い教養や国際感覚を身につける――。本学の国際教養学部が目指すのは、世界を舞台に活躍する「国際教養人」の育成だ。その柱となるのが、2年次に体験する学部セメスター留学と、2～4年次に履修するゼミ。本学の国際教養学部ならではの取り組みを紹介しよう。

た、その場で与えられた話題に対して、大半の学生がアドリブで簡単に答えられるようになる。パリなど留学先の街でも、地図を見ながら道案内が出来る程度にまでに上達するという。



半年間の留学の成果を発表する「海外課題研究報告会」(上、右)



また、文法の授業では、パソコンによる文章表現にも触れ、フランス語版のキーボードを使用してサイトを閲覧するほか、レポートや手紙などの文書作成も練習する。

フランスの場合、留学先はレンヌ第二大学。約60カ国300人の留学生が共に学び、週15時間のフランス語による講義を受ける。学生たちは「中京大学で1年次からネイティブの先生の授業を受けるため、すべてフランス語のみで行われる授業にも早く慣れることができた。事前に学んだ

食事作法に関する歴史や文化も、ホストファミリーと会話するきっかけになった」と振り返る。

フランス語を担当するペロンセル・モルヴァン准教授は「留学中の学生は朝夕に加え週末もステイ先で家族の一員として過ごす。日常生活で自然と現地文化に触れることができる」と語る。

しなやかに挑み続ける新生・中京大学

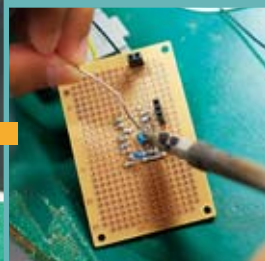
CHUKYO UNIVERSITY

2013
July



ものづくりの学習を支える
工学部の最新設備

>>p3



歴史の知識を現代に生かす
来春 歴史文化学科開設

>>p2



11学部の力【国際教養学部】

語学と教養を兼ね備えた人材育成
留学とゼミで異文化理解

2014年度 入試日程決まる

オープンキャンパスに6,800人
人気集める見学会や出前講義